

報道機関 各位

GMS社長 中島徳至さんが岐阜大学において博士号を取得！ **博士論文題目：ベンチャー企業支援による地方創生のエコシステム**

岐阜大学大学院工学研究科では、Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長兼 CEO 中島徳至(なかしま とくし)さんに、博士(工学)の学位を授与します。

中島さんは 2018 年の博士課程入学以来、7 年間にわたる社長業と研究の両立を経て、この度、博士論文を完成させました。

つきましては、取材について、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 日 時:令和 7 年 9 月 30 日(火)13:00～

2. 場 所:岐阜大学工学部第一会議室(工学部 A 棟 2 階:別紙参照)

3. 中島徳至さんの博士論文題目

『ベンチャー企業支援による地方創生のエコシステム』

本研究では、ベンチャー企業支援が地方創生や社会課題の解決に果たす役割を明らかにし、地域で持続可能な支援体制のあり方を示しました。実践経験と理論を融合し、金融機関・支援機関・スタートアップが連携する支援モデルの重要性を提言しています。今後、地域のベンチャー支援の質的向上に貢献することが期待されます。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

<https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu.miraie.html>

岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

岐阜大学 社会システム経営学環 教授 高木朗義
TEL:058-293-2445(080-5125-3390)
E-mail:takagi.akiyoshi.d6@f.gifu-u.ac.jp

Press Release

<中島徳至さん プロフィール>

1967 年岐阜県生まれ。東京理科大学大学院修了。1994 年に自動車部品メーカー・株式会社ゼロスポーツを設立し、日本自動車マフラー協会会長として業界の技術革新にも寄与。その後、電気自動車(EV)ベンチャーとして国土交通省の型式認定を取得し、当時 250 社が加盟する電気自動車普及協議会の初代代表幹事を務めるなど、EV 産業の政策形成と普及推進に尽力。

2013 年フィリピンにて BEET Philippines Inc.を設立し、日系初の現地 EV メーカーとして市場開拓を主導。同年、日本にて Global Mobility Service 株式会社(GMS)を創業。IoT デバイスと FinTech を融合させた独自のモビリティサービスを展開し、日本・フィリピン・インドネシア・カンボジアで「金融包摂型モビリティファイナンス」の社会実装を推進中。

2019 年、J-Startup 選定企業として経団連に未上場で初入会。Forbes JAPAN「起業家ランキング」3 年連続 BEST10、日経ビジネス「世界を動かす日本人 50」などに選出。2020 年には 1 年間で 3 度の経済産業大臣賞、2024 年には日本スタートアップ大賞「国土交通大臣賞」を受賞。経済産業省の SDGs 経営／ESG 投資研究会委員、東京大学大学院非常勤講師、岐阜大学大学院客員教授、一般社団法人 FinTech 協会理事などを歴任。

2018 年岐阜大学大学院工学研究科博士課程入学。7 年間に亘り研究を継続し、社長という激務をこなしながらも、博士論文を書き上げた。

※岐阜大学 工学部 第一会議室の案内図

